

富山高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	情報基礎Ⅱ	
科目基礎情報							
科目番号	0025		科目区分		専門 / 必修		
授業形態	授業		単位の種別と単位数		履修単位: 1		
開設学科	国際ビジネス学科		対象学年		1		
開設期	後期		週時間数		2		
教科書/教材	「平成29年度 ITパスポート合格教本」技術評論社						
担当教員	長谷川 博						
到達目標							
1.企業活動（企業組織および企業会計）について理解し，十分に説明することができる。 2.企業とコンプライアンスについて理解し，十分に説明することができる。 3.経営戦略と企業マネジメントについて理解し，十分に説明することができる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	企業活動（企業組織および企業会計）について理解し，十分に説明することができる。		企業活動（企業組織および企業会計）について理解し，説明することができる。		企業活動（企業組織および企業会計）についての理解が不十分で，説明することができない。		
評価項目2	企業とコンプライアンスについて理解し，十分に説明することができる。		企業とコンプライアンスについて理解し，説明することができる。		企業とコンプライアンスについての理解が不十分で，説明することができない。		
評価項目3	経営戦略と企業マネジメントについて十分に理解し，正しく計算することができる。		経営戦略と企業マネジメントについて理解し，正しく計算することができる。		経営戦略と企業マネジメントについての理解が不十分で，正しく計算することができない。		
学科の到達目標項目との関係							
ディプロマポリシー 1							
教育方法等							
概要	情報活用能力を身につけると同時に，情報モラルを持ち合わせた社会人として活躍できる学力を身につける。 情報社会において情報を活用する知識を学び，情報社会を生き抜く力を養う。 情報社会の背景にある企業活動の基礎知識を学ぶ。						
授業の進め方・方法	エンドユーザーとして有効なコンピュータの基礎知識を身につける。 文部科学省後援の公的資格である情報処理活用能力試験 1 級に対応する。						
注意点	評価が60点に満たないものは，願い出により追認試験を受けることができる。追認試験の結果，単位の修得が認められた者にあつては，その評価を60点とする。評価方法及び評価基準は，本試験と同じとする。						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	ガイダンス 企業活動の基本		企業活動の基本について理解し，説明できる。		
		2週	企業活動の基本		損益分岐点について理解し，説明できる。		
		3週	企業活動の基本		財務諸表について理解し，説明できる。		
		4週	企業活動の基本		PDCAとグラフについて理解し，説明できる。		
		5週	企業活動の基本		会社組織について理解し，説明できる。		
		6週	企業とコンプライアンス		知的財産と個人情報保護について理解し，説明できる。		
		7週	企業とコンプライアンス		働き方と労働者派遣法，コーポレートガバナンスについて理解し，説明できる。		
		8週	中間試験		中間試験		
	4thQ	9週	企業とコンプライアンス		セキュリティ法規，特定商取引法，標準化について理解し，説明できる。		
		10週	企業とコンプライアンス		標準化について理解し，説明できる。		
		11週	経営戦略と企業マネジメント		会社の現状をつかむ分析手法について理解し，説明できる。		
		12週	経営戦略と企業マネジメント		マーケティングについて理解し，説明できる。		
		13週	経営戦略と企業マネジメント		MOTについて理解し，説明できる。		
		14週	経営戦略と企業マネジメント		データマイニングについて理解し，説明できる。		
		15週	期末試験		期末試験		
		16週	期末試験の解答		試験返却		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	0	0	0	0	30	100
基礎的能力	40	0	0	0	0	15	55
専門的能力	30	0	0	0	0	15	45
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0